

令和5年度 川口市社会教育委員会議 会議録

【開催日時】 令和5年8月25日（金） 9時30分～10時50分

【会 場】 川口市役所第一本庁舎601大会議室

【会議経過】

1 開会

2 委嘱書交付

3 挨拶

川口市教育委員会教育長 井上 清之

- ・社会教育委員の皆さまには、日頃より住民と行政を結ぶパイプ役としてご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。
- ・昨年の会議では、それぞれのお立場やご経験から様々なご意見を頂戴した。おかげさまをもって、本市の事業を充実させることができた。
- ・昨夜、町会の役員としてパトロールを行った。町会は高齢化が進んでいる。地域の絆が薄れてしまうのではないかと危惧している。
- ・不登校の小・中学生が多い。不登校児童・生徒の学びを保証するとともに、学校以外にも居場所をつくる必要がある。部活動の地域移行も推進することが求められている。
- ・家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる。このように子供たちを核にして地域を再構成していくことが必要ではないかと考えている。
- ・社会教育委員の皆さまには、社会教育の方向性や新たな可能性、地域との連携・協働について、それぞれのお立場やご経験から多面的・多角的にご意見を賜りたい。よろしく願い申し上げます。

4 委員・事務局紹介

5 川口市社会教育委員会議の概要

事務局が資料に基づき説明した。

6 議長の選任・挨拶

議長として平田委員が推薦され、選任された。

7 議事

公開の宣言

※事務局より、川口市附属機関等の会議公開に関する要綱に基づき、会議が公開であることを宣言した。また、公募の結果、傍聴人はいないことを報告した。

(1) 令和5年度社会教育関係団体補助金交付について

事務局が資料に基づき説明した。

(事務局) 令和5年度社会教育関係団体補助金交付について意見を求める。

(議長) 特に異議がないため承認とする。

(2) 令和5年度生涯学習の事業について

事務局が資料に基づき説明した。

(事務局) 社会の変化に対応した生涯学習活動の一つとしてオンライン講座を実施しているところだが、より魅力的な公民館主催講座や市民大学の実施等、今後の公民館事業について、ご意見をいただきたい。

(3) 今後の公民館事業について【意見交換】

柱①「社会の変化に対応した生涯学習活動について」

議長より、意見を委員に求めた。

(委員) オンライン公民館の配信方法とアーカイブ化について教えてほしい。

(事務局) YouTube に生涯学習課のチャンネルを作成し、そこで配信している。また、受講を申し込んだかたに URL を送信する限定配信の方法をとっている講座もある。配信期間は講師と協議し決定しており、生涯学習課チャンネルに置き続けている動画もある。動画を整理し、アーカイブ化につなげたい。

(委員) アーカイブ化はよい取組である。今後も続けてほしい。

(委員) 資料2のオンライン講座一覧に記載のある「担当」とはどういうことか。また、広報活動はどのようにしているのか。視聴回数目標があれば教えてほしい。

(事務局) 各公民館で1つ以上オンライン講座を作成するようにしている。「担当」とは、オンライン講座の企画や撮影をした公民館のことである。また、広報の方法としては、公民館報への掲載やチラシの設置等があげられる。なお、視聴回数目標値は定めていない。これほどオンライン講座を配信している自治体も多くはないため、調査研究している段階である。外出が難しいご高齢のかたから高評価をいただいている例もある。通勤途中や隙間時間に視聴できる長さのものを作るようにしており、公民館を普段利用していないかたへの波及も狙っている。

(委員) 学校では子供一人に一台ずつタブレット端末を配付し、インターネットを活用した学習を行っている。また、不登校児童の学びを止めないため、授業を配信し家庭で学習できるようにしている。さらに、社会科の授業では郷土資料館と連携しオンライン社会科見学を実施している。先日は、見沼通船堀の水路を復元船が通る実演を配信してもらった。コロナ禍で見学が中止されている鋳物工場もオンライン見学が実現した。郷土資料館は授業に合わせた内容を組んでくれる。オンライン公民館も授業で活用できる内容となるよう打合せして作成するとよいのではないかと考える。

(委員) これまで英語の学習として海外の友達へ手紙を出すという授業があったが、今年度はオーストラリアとオンラインでつなぎ、現地の子供たちと交流する授業ができた。オンラインの活用は作り手の意図がぶれなければ効果のあるものになる。川口市は外国人住民が多いが、オンライン公民館を通じて交流が広がるのではないかと考える。オンライン公民館は効果が高いと感じる。

(委員) 郷土資料館の **Twitter** が盛り上がっている。生涯学習課でも **Twitter** を立ち上げて、オンライン公民館のダイジェスト版を流すと広報が進むのではないかと。

柱②「より魅力的な公民館事業について」

議長より、意見を委員に求めた。

(委員) 公民館の役割として地域を活性化させる核となる必要があると考える。川口市には児童館が2か所しかない。公民館にも児童館の役割を担ってもらうのもよいのではないかと考えている。公民館は中学生や高校生とのつながりが薄いのが現状だと感じている。地域と学校との連携が求められる現代において、公民館が自らの機能を発揮することに期待している。世代がつながると連携が進むのではないだろうか。

(委員) 俳句の会として公民館を利用している。利用の切り替えの時間帯には多くの人がロビーにおり、大勢のかたが公民館を利用していると実感している

(委員) 茶道会としてリリアで活動している。公民館も利用していきたい。

(委員) 公民館で体操を行っているが、足が悪くなってきたなどにより参加できなくなるかたが出てきている。オンライン公民館で体操ができるということを伝えていきたい。

(委員) 県内の公民館や文化センターで活動することが多い。川口市は駅前にリリアがあり、公民館の数も県内1～2位であるため、充実していると感じている。講座も多岐にわたって用意されている。DX化は教育現場でも介護の場でも求められている。川口市が早くからオンライン講座に取り組まれていることに敬意を表す。高齢者が取り残されないようにDX教育が広がれば、さらに川口の教育が充実するのではないだろうか。

(委員) オンライン講座は忙しい世代に適しており良い取組である。ショッピングセンター等で広報するとより効果的だと考える。動画視聴者の年齢層等がわかると次につながるのではないだろうか。また、中学校の文化部の活動は公民館で行われているところもある。地域の子供たちとシニアの方々がリアルでつながることができる公民館は財産である。今、生涯学習課の取組は求められており、可能性がある。学校教育と社会教育が連携できるよう仕組みを整えてほしい。幸並中学校の生徒が作品を並木公民館地区文化祭に展示していただいたことがあったが、その生徒は大変喜んでいた。

(委員) 公民館の体育ホールは予約の競争率が高い。つまり活動が盛んであるということであり、良いことだと思う。

(委員) 3才の孫が **YouTube** を自分で操作していた。また、孫にそろばんを買ってあげようと思ったが店頭置いていなかった。オンラインの取組は時代の流れだと感じる。

(委員) 美術教師だったとき、一般を対象に公民館で絵を教えていた。その教室はサークル化され、一昨年に解散するまで30年間続いた。コロナ禍において世の中は変わった。オンラインで絵を教わる子がいたり、美術大学の授業がオンライン化されたりしている。悪いことではなく良いことだと思う。また、美術館の建設を楽しみにしている。